



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月9日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL <https://www.morozoff.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 磯野 健治 TEL 078-822-5000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績（2026年2月1日～2026年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	9,152	1.7	272	△35.3	280	△35.0	183	△30.7
2026年1月期第1四半期	8,998	△3.3	421	△42.1	431	△41.0	264	△47.2

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 204百万円 (9.9%) 2026年1月期第1四半期 186百万円 (△68.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	9.12	—
2026年1月期第1四半期	13.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2027年1月期第1四半期	28,516		19,889		69.7	
2026年1月期	28,163		19,873		70.6	

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 19,889百万円 2026年1月期 19,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期（予想）	—	6.00	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年1月期の連結業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	16,420	1.4	450	6.1	480	2.4	370	36.3	18.44
通期	36,820	1.5	1,310	3.6	1,350	5.0	770	19.8	38.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年1月期1Q	20,565,356株	2026年1月期	21,265,356株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年1月期1Q	495,314株	2026年1月期	1,204,758株
------------	----------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年1月期1Q	20,065,339株	2026年1月期1Q	20,210,679株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 1. 2026年2月9日付で自己株式を消却したため、期末発行済株式数が700,000株減少しております。

2. 期末自己株式数には、従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式 (2027年1月期1Q 251,700株、2026年1月期 261,200株) を含めております。また、従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(収益認識関係)	8
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、物価の上昇傾向が続いていることから節約志向が一段と強まっており、消費者の商品や価格への選別の目は厳しさが増しております。加えて、中東情勢などの影響によりエネルギー価格や原材料費のさらなる高騰が懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは企業スローガンである『こころつなぐ。笑顔かがやく。』のもと、現在の中期経営計画「つなぐ ～next stage 2031～」に基づく焼菓子戦略やコスト抑制戦略を着実に進めております。

売上面につきましては、焼菓子はレギュラー商品および新ブランド商品ともに好調に推移したものの、想定以上にバレンタイン商戦が前期1月への前倒しとなったことや百貨店の閉店により、国内は前年同期並みの結果となりました。一方、海外では、前期は計上されなかった香港の子会社での春節の売上が当第1四半期累計期間に計上された結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,152百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

損益面につきましては、店舗のローコストオペレーションの推進や工場の自動化などを進め、人員体制の最適化に努めるとともに一部商品の価格改定に取り組みましたが、カカオの仕入価格の上昇を中心とした原材料価格高騰や新船橋工場および西神第2工場の改修による減価償却費が想定よりも先行して発生したことで、営業利益は272百万円（前年同期比35.3%減）、経常利益は280百万円（前年同期比35.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円（前年同期比30.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、前期への前倒し傾向が強まったバレンタイン商戦の影響はあったものの、北海道産発酵バターを使用したガレット専門店「太陽のガレット」の1号店を2025年9月に西武池袋本店へ、2号店を2026年4月に松坂屋名古屋店へオープンしたこと、「ファヤージュ」や「オデット」などの主力焼菓子が好調に推移したこと、また香港の子会社で春節の売上計上があったこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、「クリームリッチチーズケーキ（ほうじ茶&あずき）」や「いちごとマスカルポーネのプリン」など期間限定の新商品の売上貢献はありましたが、マドレーヌなどの半生菓子が低調に推移し、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は8,650百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、メニュー改変等による実質的な価格改定により、売上拡大を図った結果、売上高は501百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、28,516百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額4,765百万円、有形固定資産の増加額1,537百万円、受取手形及び売掛金の減少額5,639百万円等であります。負債は前連結会計年度末に比べ337百万円増加し、8,626百万円となりました。これは主にその他流動負債の増加額438百万円、支払手形及び買掛金の増加額289百万円、賞与引当金の増加額211百万円、短期借入金の減少額460百万円等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、19,889百万円となりました。なお、自己株式の消却等により、資本剰余金が91百万円、利益剰余金が868百万円、自己株式が954百万円それぞれ減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月13日に発表いたしました2027年1月期の連結業績予想について変更はございません。

なお、今後のナフサ由来の素材を中心とした材料仕入価格の上昇などの経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,109,585	6,874,957
受取手形及び売掛金	7,788,270	2,148,573
商品及び製品	2,419,756	989,793
仕掛品	455,314	954,624
原材料及び貯蔵品	555,094	754,632
その他	99,686	407,422
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	13,426,709	12,129,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,690,997	6,178,723
土地	3,644,738	3,644,738
その他(純額)	4,325,879	2,375,879
有形固定資産合計	10,661,616	12,199,341
無形固定資産		
その他	230,152	226,488
無形固定資産合計	230,152	226,488
投資その他の資産		
投資有価証券	1,514,868	1,507,398
退職給付に係る資産	1,332,642	1,443,607
その他	997,244	1,010,550
投資その他の資産合計	3,844,756	3,961,556
固定資産合計	14,736,524	16,387,386
資産合計	28,163,234	28,516,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,016,123	1,305,526
電子記録債務	517,034	440,395
短期借入金	2,145,000	1,685,000
未払法人税等	156,092	138,822
賞与引当金	225,130	436,993
その他	2,894,866	3,332,996
流動負債合計	6,954,247	7,339,734
固定負債		
長期借入金	380,000	332,500
退職給付に係る負債	76,262	80,758
その他	879,339	873,856
固定負債合計	1,335,601	1,287,115
負債合計	8,289,848	8,626,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	4,009,854	3,918,352
利益剰余金	12,846,236	11,977,583
自己株式	△1,674,812	△720,056
株主資本合計	18,918,745	18,913,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	616,946	617,358
土地再評価差額金	284,238	284,238
為替換算調整勘定	97,956	110,939
退職給付に係る調整累計額	△44,502	△36,342
その他の包括利益累計額合計	954,639	976,193
純資産合計	19,873,385	19,889,540
負債純資産合計	28,163,234	28,516,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	8,998,915	9,152,075
売上原価	4,469,566	4,704,337
売上総利益	4,529,349	4,447,737
販売費及び一般管理費	4,107,612	4,175,083
営業利益	421,737	272,653
営業外収益		
受取配当金	2,015	2,080
売電収入	2,550	2,664
その他	15,944	13,137
営業外収益合計	20,509	17,882
営業外費用		
支払利息	5,936	8,285
その他	4,488	1,472
営業外費用合計	10,425	9,757
経常利益	431,821	280,778
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,102
特別利益合計	—	1,102
特別損失		
固定資産除売却損	2,060	0
特別損失合計	2,060	0
税金等調整前四半期純利益	429,761	281,880
法人税等	165,743	98,805
四半期純利益	264,018	183,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,018	183,075

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	264,018	183,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,098	412
土地再評価差額金	△5,900	—
為替換算調整勘定	△30,762	12,982
退職給付に係る調整額	17,966	8,159
その他の包括利益合計	△77,795	21,554
四半期包括利益	186,223	204,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,223	204,629
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年1月30日開催の取締役会決議に基づき、2026年2月9日付で、自己株式700,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が91百万円、利益剰余金が848百万円、自己株式が940百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	153,568千円	224,664千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レスト ラン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,510,425	488,490	8,998,915	—	8,998,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,510,425	488,490	8,998,915	—	8,998,915
セグメント利益	759,769	7,885	767,655	△345,918	421,737

(注) 1. セグメント利益の調整額△345,918千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	洋菓子製造 販売事業	喫茶・レスト ラン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,650,537	501,537	9,152,075	—	9,152,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,650,537	501,537	9,152,075	—	9,152,075
セグメント利益 又は損失(△)	620,761	△7,465	613,295	△340,641	272,653

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,641千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

報告セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
洋菓子製造販売事業計	8,510,425	8,650,537
(内訳)		
干菓子群	6,458,566	6,641,663
洋生菓子群	1,935,240	1,884,932
その他菓子群	116,618	123,941
喫茶・レストラン事業計	488,490	501,537
顧客との契約から生じる収益	8,998,915	9,152,075
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	8,998,915	9,152,075

3. 補足情報

販売実績

当第1四半期連結累計期間のセグメント別商品群別販売実績は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (収益認識関係)」に記載のとおりであります。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分(商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (クッキー) ファヤージュ、アルカディア、オデット、ガレット オ ブール等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) ハッピーパーティー、ロイヤルタイム等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ等。 (半生菓子) マドレーヌ、フィナンシェ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。